

城北水質管理センター第1 水処理最初沈殿池等清掃業務

仕 様 書

1 業務目的

本業務は、城北水質管理センター内の第1 水処理最初沈殿池等の汚泥・沈砂の除去及び洗浄を行い、下水処理設備の機能を維持することを目的とする。

2 業務場所

金沢市浅野本町ホ1 3 1 番地

3 業務期間

令和8 年3 月27 日まで

4 業務の遂行

- (1) 受注者は業務の実施にあたり、機器の機能を十分発揮できるよう必要な人員と技術を確保し、誠意を持って業務を遂行しなければならない。
- (2) 場内の外部出入業者と関連した機器の運転操作や関連施設に関わる運転操作には十分留意し、相互に協力して、円滑な運営を行うものとする。

5 業務体制

本業務は原則 8 時30 分～17 時15 分の間で行い、この時間内に施設を通常運転状態に復旧させるものとする。

6 業務の報告及び協議

- (1) 本業務の遂行にあたり、入場時及び退場時並びに必要な時には報告を行わなければならない。また、発注者が報告を求めた場合は、これに応じなければならない。
- (2) 発注者と協議事項が生じた場合は、随時打合せを行うものとする。また、発注者が協議を求めた場合は、これに応じなければならない。

7 業務責任者の職務

受注者は業務責任者を選任し、業務全体の指揮監督を行い、事故の防止及び安全管理の徹底に努めるとともに、常に発注者と連絡を密にして日常の業務遂行状況を随時報告し、協議を行うものとする。

8 法令の遵守

業務の遂行にあたり、下水道法・水質汚濁防止法・労働基準法・労働安全衛生法等その他関係法令を遵守しなければならない。

9 損害賠償

受注者の契約不適合により損害が発生した場合には、発注者が受注者に対し損害賠償を請求できるものとする。

10 業務費の支払方法

支払方法は、業務終了後、一括払いとする。

11 提出書類

受注者は業務の遂行にあたり、次の書類を速やかに提出するものとし、変更の場合も同様とする。なお、可能な限りペーパーレス化を図ること。

| | | |
|----------------|-----|------------|
| (1) 業務実施計画書 | 1 部 | 契約後速やかに |
| (2) 業務責任者選任届 | 1 部 | 契約後速やかに |
| (3) 業務員選任届 | 1 部 | 契約後速やかに |
| (4) 緊急時連絡体制表 | 1 部 | 契約後速やかに |
| (5) 計画工程表 | 1 部 | 契約後速やかに |
| (6) 業務要領書 | 1 部 | 契約後速やかに |
| (7) 詳細工程表 | 1 部 | 業務開始20日前まで |
| (8) 打合せ議事録 | 1 部 | 随時 |
| (9) 業務日報 | 1 部 | 作業後速やかに |
| (10) 業務報告書 | 1 部 | 業務終了後速やかに |
| (11) 業務写真 | 2 部 | 業務終了後速やかに |
| (うち1部はダイジェスト版) | | |
| (12) 業務完了届 | 1 部 | 業務終了後速やかに |
| (13) 請求書 | 1 部 | 業務終了後速やかに |
| (14) その他必要なもの | 必要数 | 随時 |

12 業務範囲

(1) 第1水処理

最初沈殿池×4池(1, 4, 5, 7系) 見込み堆積物量 7 m³ (1池当たり)

1号合流污水流入水路 見込み堆積物量 5 m³

(2) 第2水処理

最初沈殿池×2池(1-1, 1-2系) 見込み堆積物量 5 m³

着分配井 見込み堆積物量 10 m³

(3) 消化污泥受槽 見込み堆積物量 11 m³

(4) 污泥洗净槽×2槽(1, 2号) 見込み堆積物量 22 m³

(5) 浅野ポンプ場合流污水沈砂池 見込み堆積物量 16 m³

(6) 浅野雨水ポンプ場 見込み堆積物量 54 m³

(7) 1号浅野系滞水池流入水路、ポンプ井 見込み堆積物量 5 m³

(8) 浅野第2ポンプ場 見込み堆積物量 10 m³

(9) 浅野第4ポンプ場 見込み堆積物量 3 m³

(10) 污泥処理棟污泥貯留槽 見込み堆積物量 10 m³

(11) 処理水貯留施設 処理水排水管 (高压洗净による洗い流し)

13 業務内容

(1) 沈殿池、沈砂池等の清掃及び堆積物の除去

槽内洗净を実施する前に堆積物の引抜除去を実施し、沈殿池、沈砂池等の堆積状況を記録すること。

(2) 除去した堆積物の吐出处分

吐出处分先は浅野ポンプ場沈砂受入口とする。

吸引車にて吸引除去ができない堆積物については、監督員が指定する場内集積場所に搬出すること。

(3) 処理水排水管の清掃

高圧洗浄により管内の閉塞部を洗い流すこと。

14 記録等の提出

受注者は、作業期間中の閉庁日を除く毎日、前日実施業務、当日予定業務、業務結果等について、その報告をしなければならない。また、発注者が求めた場合は、必要に応じて電子データとして提出しなければならない。

15 業務工程及び内容の承諾について

工程表及び業務要領書は、事前に提出して承諾を得るものとし、詳細は打合せにより決定するものとする。

16 完成図書・特殊工具等の貸与

業務遂行に必要と認めた完成図書・特殊工具等は貸与するが、その保管状況を常に把握し、故意又は過失により破損・紛失等があった場合は、受注者がこれを弁済するものとする。

17 立入り及び持込み禁止

(1) 業務遂行上必要と認められる施設以外に無断で立ち入ってはならない。ただし、緊急の場合はこの限りではない。

(2) 業務遂行上不要なものを施設内に持ち込んで서는ならない。

18 機密の保持

業務の遂行に当たり、業務上知り得た事項を他に漏らしてはならない。また、業務期間が完了した後も同様とする。

19 疑義

設計図書、書類に定める事項について、疑義を生じた場合の解釈は、受注者は、発注者と協議のうえ、その指示に従わなければならない。

20 その他

(1) 受注者は、業務中毎日監督員と打合せを行い、業務工程及び区分を明確にした上で当日の作業を開始しなければならない。

(2) 業務場所は施錠してあるため、作業開始時には鍵を貸与するが、作業が数日に及ぶ場合でも、当日の作業終了時に必ず施錠し返却すること。

(3) 受注者は、槽内作業にあたっては、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者を選任し、酸素及び硫化水素濃度の測定を記録しなければならない。

(4) 受注者は、場内の通路等、使用上汚損のおそれがある箇所については、あらかじめ養生し、作業者にも周知徹底させなければならない。

(5) 受注者は、業務対象物等に不良箇所を発見した場合、又は業務実施上不具合のある箇所を発見した場合は、直ちに監督員に報告し、その指示を受けるものとする。

- (6) ゲートの開閉及び系列の切り替え等の場内施設運転に関わることは発注者が実施する。
- (7) 業務範囲は同時に停止することができないため、沈殿池等ごとに清掃期間を設けること。また、各清掃期間後には1～2週間の養生期間を設けるものとする。
- (8) 浅野第2ポンプ場、浅野第4ポンプ場、浅野雨水ポンプ場の清掃は各ポンプ井につながる沈砂池を含めた系列ごとに切り替えて清掃すること。
- (9) 清掃に使用する水については、場内の処理水を提供することができるが、より清浄な水を受注者が自ら準備することについては差し支えない。
- (10) 各業務範囲の清掃回数は、以下の表のとおりとする。

清掃回数

| 清掃箇所 | | 清掃回数 |
|-----------------------|------------------|------|
| (1) 第1水処理 | 1系最初沈殿池 | 1回 |
| | 4系最初沈殿池 | 1回 |
| | 5系最初沈殿池 | 1回 |
| | 7系最初沈殿池 | 1回 |
| | 1号合流汚水流入水路 | 1回 |
| | 滞水池流入水路 | 0回 |
| | 2号合流汚水流入水路(4系流入) | 0回 |
| | 2号合流汚水流入水路(5系流入) | 0回 |
| | 分流汚水流入水路 | 0回 |
| (2) 第2水処理 | 1-1, 1-2系最初沈殿池 | 1回 |
| | 着分配井 | 1回 |
| (3) 消化汚泥受樹 | | 1回 |
| (4) 汚泥洗浄槽 | 1号洗浄槽 | 1回 |
| | 2号洗浄槽 | 1回 |
| (5) 浅野ポンプ場合流汚水沈砂池 | | 1回 |
| (6) 浅野雨水ポンプ場 | 1号沈砂池 | 1回 |
| | 2号沈砂池 | 1回 |
| | 3号沈砂池 | 1回 |
| | 4号沈砂池 | 1回 |
| | 1号ポンプ井 | 1回 |
| | 2号ポンプ井 | 1回 |
| (7) 1号浅野系滞水池流入水路、ポンプ井 | | 1回 |
| (8) 浅野第2ポンプ場 | 1号沈砂池、ポンプ井 | 1回 |
| | 2号沈砂池、ポンプ井 | 1回 |
| (9) 浅野第4ポンプ場 | 1号沈砂池、ポンプ井 | 1回 |
| | 2号沈砂池、ポンプ井 | 1回 |
| (10) 汚泥処理棟 | 1号汚泥貯留槽 | 1回 |
| | 2号汚泥貯留槽 | 1回 |
| (11) 処理水貯留施設 | 処理水排水管 | 1回 |